

呼吸器内科の身体診察

〈頸部・胸部からのメッセージに応える〉



沖縄県立中部病院呼吸器内科部長

喜舎場朝雄

1991 年自治医科大学医学部卒業。沖縄県立中部病院で初期研修を修了し、2 つの県立病院診療所勤務などを経て、2002 年から沖縄県立中部病院呼吸器内科勤務。2007 年から同呼吸器内科部長、2009 ～ 2010 年にロンドンの Royal Brompton Hospital に留学し、2021 年から医療部長兼呼吸器内科部長として現在に至る。研修医教育に携わり、身体診察・胸部画像所見の解釈を伝授しながら、間質性肺炎の臨床研究に取り組んでいる。著書に『間質性肺炎のみかた、考えかた』（中外医学社、2022）などがある。

1 はじめに	p02
2 頸部の診察	p02
3 胸部の診察	p04
4 胸部聴診	p05

アイコン説明

-  注意事項/課題・問題点
-  補足的事項/エッセンス
-  お役立ち/スキルアップ
-  関連情報へのリンク

ご利用にあたって

本コンテンツに記載されている事項に関しては、発行時点における最新の情報に基づき、正確を期するよう、著者・出版社は最善の努力を払っております。しかし、医学・医療は日進月歩であり、記載された内容が正確かつ完全であると保証するものではありません。したがって、実際、診断・治療等を行うにあたっては、読者ご自身で細心の注意を払われるようお願いいたします。

本コンテンツに記載されている事項が、その後の医学・医療の進歩により本コンテンツ発行後に変更された場合、その診断法・治療法・医薬品・検査法・疾患への適応等による不測の事故に対して、著者ならびに出版社は、その責を負いかねますのでご了承下さい。

HTML版

スマホでも読みやすいブラウザ表示です。本コンテンツ購入後、無料会員登録することでご利用いただけます。

無料会員登録

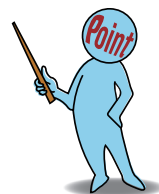
無料会員登録の手順とシリアルナンバーによるHTML版の閲覧方法の解説です。

オリジナルコンテンツ

日本医事新報社のオリジナル Web コンテンツの一覧をご覧ください。

私が伝えたいこと

- 呼吸器内科診療において頸部・胸部の診察はきわめて重要である。
- 頸部の呼吸補助筋の評価は生理学的な異常の予測につながる。
- 頸静脈では呼吸性変動に着目する。
- 胸部聴診では吸気と呼気をしっかり意識して雑音を聴取する。
- 吸気に聴取される crackles を phase にも留意して評価することで、病態生理の推定が可能になる。



1 はじめに

臨床に携わる医師にとって、患者の問題を抽出する過程における身体診察の重要性は高い。本稿では呼吸器疾患における身体所見の中で、頸部と胸部での所見の取り方について具体的に述べる。

2 頸部の診察

慢性閉塞性肺疾患 (chronic obstructive pulmonary disease : COPD) では呼吸補助筋である胸鎖乳突筋の肥大がみられることがある (図1)¹⁾。20 pack-year 以上の喫煙歴があり労作時呼吸困難がある患者で、胸鎖乳突筋をチェックし肥大があれば呼吸機能検査を施行して COPD の診断をする。急性期には胸鎖乳突筋の使用も視診でわかるので (動画1), 呼吸困難の原因を解明し速やかに対応する。肥大は慢性の病態を反映し、使用は急性期の呼吸の負荷を意味する。

図1 胸鎖乳突筋の肥大



COPD では、呼吸補助筋である胸鎖乳突筋の肥大がみられることがある

動画1 COPD：胸鎖乳突筋の使用 (87歳，女性)

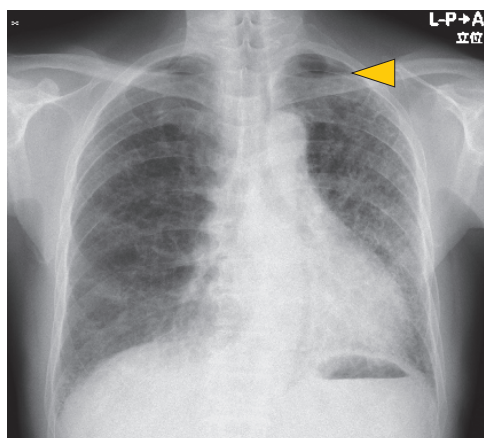


図2 中斜角筋の肥大



間質性肺炎や結核後遺症などでは、中斜角筋の肥大を伴っていることがしばしばある

図3 特発性肺線維症の胸部単純X線画像 (65歳, 男性)



中斜角筋の肥大は、胸部単純X線での前側の第一肋骨の内側縁の肥厚と相関する

動画2 非線維性過敏性肺炎：中斜角筋の使用 (74歳, 男性)



動画3 COPD：頸静脈の呼吸性変動 (80歳, 女性)



間質性肺炎や結核後遺症などの拘束性肺疾患では中斜角筋の肥大を伴っていることがしばしばあり(図2)、胸部単純X線(正面)での前側の第一肋骨の内側縁の肥厚と相関する(図3)。また、急性の呼吸困難を訴える場合には、触診で中斜角筋の使用を確認することが可能である(動画2)。使用は呼吸補助筋を直接触り、中斜角筋の肥大は示指と中指を用いて、差し込むようにして確認する。呼吸補助筋の過度の使用の原因を把握するために、胸部単純CTを施行する。

頸静脈については呼吸性変動に着目する(動画3)。COPDの急性期では、胸腔内圧の上昇に連動して呼気で頸静脈が怒張し、吸気で虚脱する。この場合には胸部単純X線を撮影して増悪、肺炎、気胸などを鑑別する。